

## 対策計画書

届出者 住所	大阪府豊中市走井2-9-1	氏名 ヤマトグループエキスプレス株式会社 関西主管支店長 中谷 秀行
特定事業者の主たる業種	44道路貨物運送業	
該当する特定事業者の要件		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 レ 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要	大阪府下7営業所において、主に第二種貨物利用運送事業及び一般貨物自動車運送事業を展開。	

### ◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
平成 29 年 4 月 1 日～	平成 32 年 3 月 31 日	(3年間)	
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		1,198 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量（平準化補正後）		1,269 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標（目標年度の対策後排出量）		1,174 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標（目標年度の対策後排出量(平準化補正後)）		1,244 t-CO <sub>2</sub>	
選択 レ	目標削減率（排出量ベース）	2 %	
	目標削減率（原単位ベース）	0 %	
	目標削減率（平準化補正ベース）	2 %	

#### 目標削減率に関する考え方

施設においては主に老朽化した各事業所の冷暖房機器の入替え、及び照明機器のLED化を行い、使用電力の削減を目指したい。

車両は、諸事情で見送っていた代替実施が緩和されており、老朽車両を入替えることにより燃料消費の削減が見込める。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		
目標年度における吸収量	0 t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率 0.0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容（目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入）
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

---

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

従来から全社で継続の、省エネルギーに対する社員の理解を一層推し進める。